



みらい通信誌

～令和3年度6月号～



今回のみらい通信誌では、5月末に実施した「B型の社会参加活動」と「AB合同余暇活動」について紹介しています。連日雨が続く中で天気にもぐまれ、とても充実した一日を送ることができたのではないかと思います。ジメジメした毎日の中で、心も身体もリフレッシュできる機会になれば幸いです。

※まだまだ、新型コロナウイルス感染症の心配がある中ではありますが、移動中や外出先での感染症対策にしっかり取り組みながら実施しております。

【みらいB型 社会参加活動】



令和3年5月29日(土)にみらいB型で社会参加活動を実施しました。例年、社会参加活動は少し遠出をすることで、普段の地域では違った「楽しみ」や「学び」を得ることができるよう企画しました。今年度は、「地域を知ろう!」というテーマで、南薩圏域にある「楽しみ」や「学び」を得られるような内容で企画しています。今回の行先は「南九州市の颯娃町」に設定し、釜蓋神社や番所鼻自然公園など、颯娃町の特徴や観光地などについて事前に情報を得て現地に行き、さらに深めるといった流れで取り組んでいます。



【みらいAB合同余暇活動】

令和3年5月29日(土)にみらいA型B型合同余暇活動を実施しました。新年度から加わった利用者との交流やA型とB型での交流を目的に実施しました。今回は、『ボッチャ』というスポーツを中心に、利用者同士で楽しめる内容を企画しています。積極的なコミュニケーションが取れない中ではありましたが、皆さま楽しそうに、真剣にゲームに取り組んでいました。今後もコロナ禍の中、できることは限られてしましますが、仕事だけではなく余暇活動でも皆さんが笑顔になれる活動を企画していきたいと考えています。

